

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部市民生活課	直通電話	72-3191	事業コード	207030102	課内	27	作成日	平成15年8月20日
	担当者		一ノ瀬 隆	担当課長			伊藤清	担当部長	吉田保雄

1 事業のアウトライン

1) 事業名	生活安全モデル地域事業補助事業	開始年度	H14	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度			
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目			
	2070202	交通安全・防犯の充実 / 交通安全対策の充実 / 交通安全思想の高揚			
	2070301	交通安全・防犯の充実 / 防犯対策の充実 / 防犯施設の整備			
	3030501	高齢者福祉の充実 / 安全して暮らせる環境づくり / 高齢者の安心対策の充実			
3) 個別計画での位置付け	石狩市生活安全条例(町内会における生活安全モデル地域の設定)				

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	モデル地域に指定された町内会は、その地域における生活安全を確保するため、啓発活動、犯罪防止活動、少年非行防止、高齢者対策等の事業に取り組み、検証の結果を踏ま、波及効果の取り組みに発展することを目的とする。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市と市民による相互の努力により、市民生活の快適性、安全性、安心感を増すための施策の強化を図る。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	生活安全啓発活動 犯罪・事故及び災害防止活動 少年非行被害防止「こども110番の家」シール掲示 高齢者宅への声かけ、防犯ブザーの配付 上記のような活動を通じてモデル町内会に対し、全部を補助する。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	石狩市において、年間1,000件前後の刑法犯が発生し、その内9割は窃盗犯により占められており、その多くは、泥棒、車上狙い、万引き等であり、少年による犯罪も多くなっている。今後、町内会などの自主的な活動等、生活の安全を確保するため、総合的な施策の実現を図る必要がある。 なお、この条例については、道内においては実施している市は少ないのが現状である。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	モデル地域事業の推進については、石狩市生活安全推進協議会委員の意見を聴き、取り進める。
7) 評価中間公表への市民意見	総合評価は「B」が妥当。今後の犯罪や事故の傾向を踏まえ、改善や見直しをしながら事業を継続すべきである。

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)	
1) 直接事業費(千円)	0	0	261	200	生活安全モデル地域補助事業	261	
2) その他の間接経費(千円)							
3) 従事正職員の人件費(千円)			577				
総事業費(1~3の合計;千円)			838		H14主な特定財源の内訳	金額(千円)	
総事業費中の一般財源(千円)			838				
市民一人当たり一般財源使用額(円)			15				
事務に従事した正職員のべ人数			0.07人				

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
各種犯罪及び交通事故等講習会への参加者(延べ人数)	目標値		未設定	80	H15より目標値を前年度実績値により設定
	実績値		80		
	達成率				
高齢者宅への声かけ、防犯ブザーの配付回数(個)	目標値		未設定	30	H15より目標値を前年度実績値により設定
	実績値		30		
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

5 事業の成果

事業名: 生活安全モデル地域事業補助事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
若葉町内会窃盗犯認知件数(件)	目標値			未設定	25	H15より目標値を前年度実績値により設定した。 (目標値は低い程よい)	道警本部
	実績値			25	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
花川北地区交通事故発生件数(件数)	目標値				27	H14は、前年対比で、大きく減少したため、H15は、その2割減で設定した。 (目標値は低い程よい)	道警本部
	実績値			34	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	講習会への積極的参加や、町内会区域のブザーの配布など、計画どおり実施されている。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	安全で住みよい地域社会を作るため、地域安全活動の推進を行うため、若葉町内会の身近な犯罪の防止活動の推進を図ることが必要である。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	行政と市民のパートナーシップにより現状を改善する必要がある、市民活動の支援の観点から一定の妥当性がある。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	市全体として生活の安全を確保するとともに、町内会などが自主的に生活の安全を確保する連携の輪を広げるなど、現在の事業には一定の妥当性がある。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	C (前年度)
	犯罪の件数も増えてきており、行政対応だけではなく、地域が自主的に生活の安全を推進することが必要とされており、安全で快適な地域を形成できた。		【部長評価】空き巣、車上狙いなどが増加しているにも関わらず、モデル地区の指定が一地区に止まった。 【市長評価】部長評価を了承する。	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	地域における防犯活動の重要性が増していることから、地域への啓発が必要と考える。
最終評価	[担当部長]モデル地域での成果を検証し、地域での防犯活動の指針を整備する。 [市長評価]部長評価を了承する。

9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止	*	
上についての説明	今後事業結果を各町内会等に普及していく。また、新たな課題に対して検証していく。 [市長評価]部長評価を了承する。		

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 生活環境部市民生活課
事業名： 生活安全モデル地域事業補助事業

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	石狩市生活安全モデル地域補助金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	若葉町内会(会長 片石敏夫 世帯数466世帯)
活動(事業)目的	市と市民が協力して犯罪、事故等を防止し、もって安全で住みよい地域社会の実現に寄与することを目的とする。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	報償費							5	5
	会議費					24	24	184	184
	事業費					209	209	11	11
	事務費					20	20		
	使用料及び賃借料					8	8		
	歳出合計					261	261	200	200
歳入決算 (予算)状況	石狩市生活安全モデル地域補助金					261	100.0%	200	100.0%
			市の補助負担金への依存度		市の補助負担金への依存度		市の補助負担金への依存度		市の補助負担金への依存度
	歳入合計					261		200	
補助・負担対象経費の内容	活動費の全額を補助対象経費とする。								
補助・負担金額の算定方法	定額								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
啓発用チラシの全戸配布 2回実施(枚)			932	930
防犯ベルの配布個数(個)(再掲)			30	30
平成14年度活動(事業)実績	「地域安全旗」及び「交通安全旗」の設置(各60枚を設置)、町内会全戸配付啓発用チラシの配付(年2回町内会実施)、各種犯罪・交通事故防止等講習会の開催(1回開催)、防犯ベルの購入・配付(30個配布) 歳末パトロール等の実施			

4 特記事項

--